

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市療育センター
条例上の設置目的	心身障害者の福祉の増進を図る。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	心身の発達の遅れや、その心配のある児童の障害を早期に発見し、心身の健やかな発達や集団生活への適応を支援すること。また、障害者の自立や社会参加を支援すること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	<ul style="list-style-type: none"> ・就労を希望する障害者に対し、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行うこと。 ・通常の事業所に雇用されることが困難な障害者に対し、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行うこと。 ・障害者等の日中における活動の場を確保し、障害者等の家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図ること。 ・障害者の機能訓練、社会適応能力の向上並びに健康の維持及び増進に関する事業を行うこと。また、創作的活動やスポーツ・レクリエーション等により、障害者の社会参加を促進すること。くわえて、障害者福祉に関するボランティアを養成すること。 ・心身障害に関する相談並びに心身障害児又は心身に障害があると思われる児童に対する診断、検査、治療及び指導を行うこと。 ・心身に障害のある児童または心身の発達に遅れのある児童に対し、日常生活における基本的な動作の指導及び集団生活への適応訓練を行うこと。 ・障害者または障害児の心身の状況やサービスの利用に関する意向等を勘案し、サービス等利用計画を作成すること。また、モニタリングを実施し、サービス等利用計画が適切であるかどうかを検証し、適宜サービス等利用計画の見直しを行うこと。
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度導入により、市民サービスの向上と管理経費の縮減の効果を見込む。
成果指標※	<ul style="list-style-type: none"> ① 施設利用者数 ② 利用者アンケートにおける利用者満足度
数値目標※	<ul style="list-style-type: none"> ① 施設利用者数（ふれあいの家にあつては講座参加者数）の増加（前年度比） ② 利用者アンケートにおける満足度9割以上
所管課	保健福祉局高齢障害部障害福祉サービス課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	社会福祉法人千葉市社会福祉協議会
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉市中央区千葉寺町1208番地2
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年）
選定方法	非公募
非公募理由	<p>次の理由により、公募の方法によらず千葉市社会福祉協議会を指定管理者とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 専門性の高いスタッフの確保 医師や専門職によるサービスの提供が求められるため、専門性が高く、スタッフの確保が困難である。 (2) 利用者等との信頼関係 利用者及びその保護者と現在の指定管理者との信頼関係が構築されている。 (3) より質の高いサービス提供 これまでの経験を踏まえた、より質の高いサービス提供が期待できる。
管理運営費の財源	指定管理料

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	R4年度実績	達成率※
施設利用者数	施設利用者数（ふれあいの家 にあつては講座参加者数）の 増加（前年度比）	28,302人 (R3年度：32,002人)	88.4%
利用者アンケートにおける利用者満足度	満足度90%	84.0% (R3年度：84.1%)	93.3%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		R4年度	R3年度	計画実績差異・要因分析		
				差異	主な要因	
指定管理料	実績	650,574	663,800	実績－計画	△ 34,028	人件費不用額の返納
	計画	684,602	689,257	計画－提案	△ 57,828	人事異動による減
	提案	742,430	733,018			
利用料金収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
その他収入	実績	3,282	0	実績－計画	3,282	令和4年度指定管理者光熱費支援金
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	653,856	663,800	実績－計画	△ 30,746	
	計画	684,602	689,257	計画－提案	△ 57,828	
	提案	742,430	733,018			

※その他収入（3,282千円）は千葉市指定管理者光熱費支援金である。

千葉市指定管理者光熱費支援金とは指定管理者の努力では回避できないエネルギー価格の高騰に伴う電気・ガス料金の上昇により、光熱費に不足が見込まれたため、指定管理者に対し支援金を支給したものの。

イ 支出

(単位：千円)

費目		R4年度	R3年度	計画実績差異・要因分析		
				差異	主な要因	
人件費	実績	482,530	493,510	実績-計画	△ 32,731	人事異動・育児休業等による減
	計画	515,261	531,419	計画-提案	△ 51,200	人事異動による減
	提案	566,461	552,658			
事務費	実績	29,159	49,610	実績-計画	△ 4,533	定期修繕費等の減
	計画	33,692	47,698	計画-提案	△ 10,168	執行精査による減
	提案	43,860	46,833			
事業費	実績	55,959	53,931	実績-計画	6,767	光熱費増額のため
	計画	49,192	55,284	計画-提案	△ 4,155	執行精査による減
	提案	53,347	61,152			
委託費	実績	70,608	49,422	実績-計画	515	移転準備のための不用品廃棄のため
	計画	70,093	53,389	計画-提案	△ 562	執行精査による減
	提案	70,655	70,655			
その他	実績	8,834	1,403	実績-計画	△ 7,530	退職給付引当金の減
	計画	16,364	1,467	計画-提案	8,257	退職給付引当金計上
	提案	8,107	1,720			
本社費・共通費	実績	10,536	21,635	実績-計画	10,536	区分間資金移動等
	計画	0	0	計画-提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	657,626	669,511	実績-計画	△ 26,976	
	計画	684,602	689,257	計画-提案	△ 57,828	
	提案	742,430	733,018			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

千葉市社会福祉協議会の各事業（指定管理事業、委託事業）予算額に応じて按分。

(2) 収支状況

(単位：千円)

		R4年度	R3年度
必須業務	収入合計	653,856	663,800
	支出合計	657,626	669,511
	収支	△ 3,770	△ 5,711
自主事業	収入合計	0	0
	支出合計	0	0
	収支	0	0
総収入		653,856	663,800
総支出		657,626	669,511
収支		△ 3,770	△ 5,711
利益の還元額			
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績 (成果指標の目標達成状況)

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数	C	88.4% (R3年度116.4%)
利用者アンケートにおける満足度9割以上	C	93.3% (R3年度93.4%)

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

「施設利用者」の評価方法

- A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。)
- B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。)
- C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
- D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
- E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

「利用者アンケートにおける満足度9割以上」の評価方法

- A：成果指標が市設定の数値目標の108%以上 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。)
- B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上108%未満 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。)
- C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
- D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
- E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	A	12.4%の削減

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：選定時の提案額から10%以上の削減
- B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
- C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
- (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
- ：対象外 (市の指定管理料支出がない。)

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉市療育センター設置管理条例及び管理規則に基づき、適切に施設管理を行った。 ・安全管理マニュアル、事故対応マニュアル、感染症防止マニュアル等に従い適切に指定管理を行った。 ・全体で年3回、各施設で全体分含め年12回の避難訓練を実施した。
市民の平等利用の確保			
関係法令等の遵守			
リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力			
(1) 人的組織体制の充実	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・職場内研修及び外部研修等の受講を推進した。 ・非常勤医師の雇用等により人員体制を整えた。
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置			
従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・日常点検・定期点検を適正に実施した。
施設の保守管理			
設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮			
(1) 幅広い施設利用の確保	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・設置管理条例及び管理規則に基づき、開館時間及び休館日を遵守した。
開館時間・休館日			
利用料金設定・減免			
利用促進の方策			
(2) 利用者サービスの充実	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業毎にアンケートを実施した。 ・ロビーに意見箱を設置している。
利用者への支援			
利用者意見聴取・自己モニタリング			
(3) 施設における事業の実施	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して園児兄弟・姉妹預かり事業及び土日余暇支援事業を実施した。
施設の事業の効果的な実施			
自主事業の効果的な実施			
4 その他			
市内業者の育成	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に市内業者を利用した。 ・障害者雇用の確保に努めた。
市内雇用への配慮			
障害者雇用の確保			
施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
 D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
 E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容

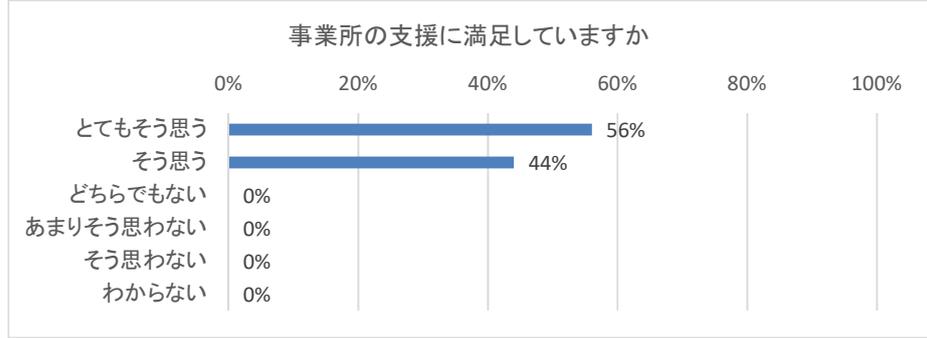
6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

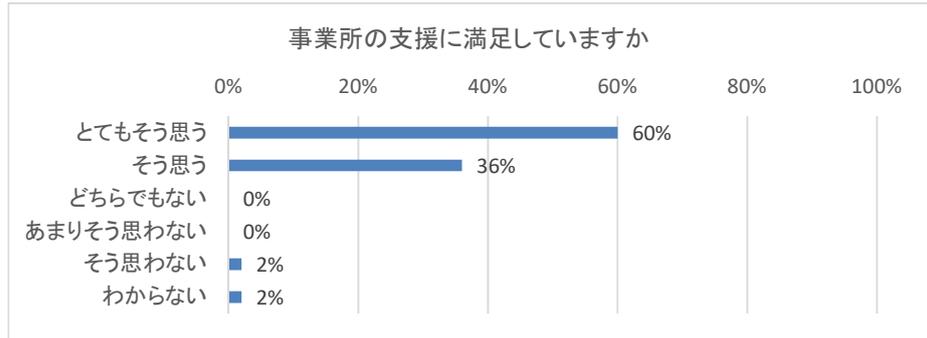
実施内容	調査方法	各施設にてアンケート用紙を利用者及び保護者に配布し、利用時に回収。																																										
	回答者数	延べ1,685人																																										
	質問項目	支援の説明について。事業所の支援について。個別指導について。グループ指導について。講座等実施事業について。等																																										
<p>令和4年度実施アンケートより一部抜粋（詳細については、事業報告書P102～P210参照）</p> <p>利用者アンケートにおける満足度（成果指標） 事業報告書P102～P210</p> <div data-bbox="438 560 1364 896"> <table border="1"> <caption>利用者アンケートにおける満足度</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とてもそう思う</td> <td>46.7%</td> </tr> <tr> <td>そう思う</td> <td>37.3%</td> </tr> <tr> <td>どちらでもない</td> <td>8.5%</td> </tr> <tr> <td>あまりそう思わない</td> <td>1.6%</td> </tr> <tr> <td>そう思わない</td> <td>0.9%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>4.9%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>各サービスにおける、全設問回答数である合計8,827の内、 「とてもそう思う」（46.7%）「そう思う」（37.3%）の割合の合計を成果指標（84.0%）とした。</p> <p>ア すぎのこルーム（医療型C・前期） 配布数23、回答数21 回答率91% 事業報告書P104</p> <div data-bbox="438 1030 1364 1366"> <table border="1"> <caption>事業所の支援に満足していますか（前期）</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とてもそう思う</td> <td>71%</td> </tr> <tr> <td>そう思う</td> <td>19%</td> </tr> <tr> <td>どちらでもない</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>あまりそう思わない</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>そう思わない</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>すぎのこルーム（医療型C・後期） 配布数27、回答数26 回答率96% 事業報告書P126</p> <div data-bbox="438 1433 1364 1769"> <table border="1"> <caption>事業所の支援に満足していますか（後期）</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とてもそう思う</td> <td>63%</td> </tr> <tr> <td>そう思う</td> <td>29%</td> </tr> <tr> <td>どちらでもない</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>あまりそう思わない</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>そう思わない</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> </div>			満足度	割合	とてもそう思う	46.7%	そう思う	37.3%	どちらでもない	8.5%	あまりそう思わない	1.6%	そう思わない	0.9%	わからない	4.9%	満足度	割合	とてもそう思う	71%	そう思う	19%	どちらでもない	5%	あまりそう思わない	5%	そう思わない	0%	わからない	0%	満足度	割合	とてもそう思う	63%	そう思う	29%	どちらでもない	0%	あまりそう思わない	0%	そう思わない	8%	わからない	0%
満足度	割合																																											
とてもそう思う	46.7%																																											
そう思う	37.3%																																											
どちらでもない	8.5%																																											
あまりそう思わない	1.6%																																											
そう思わない	0.9%																																											
わからない	4.9%																																											
満足度	割合																																											
とてもそう思う	71%																																											
そう思う	19%																																											
どちらでもない	5%																																											
あまりそう思わない	5%																																											
そう思わない	0%																																											
わからない	0%																																											
満足度	割合																																											
とてもそう思う	63%																																											
そう思う	29%																																											
どちらでもない	0%																																											
あまりそう思わない	0%																																											
そう思わない	8%																																											
わからない	0%																																											

結果

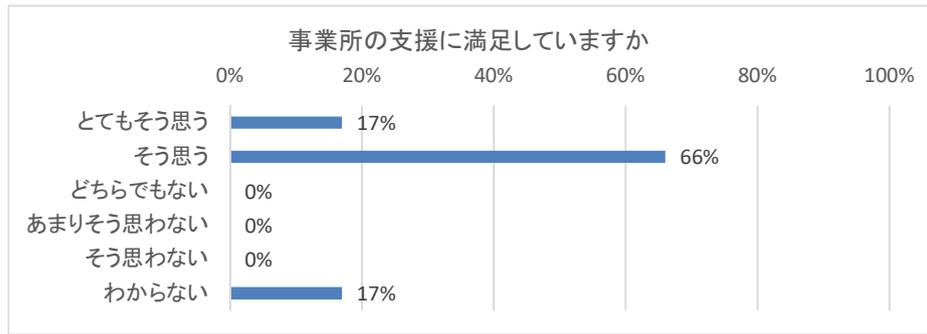
すぎのこルーム（児発・前期） 配布数48、回答数48 回答率100% 事業報告書P113



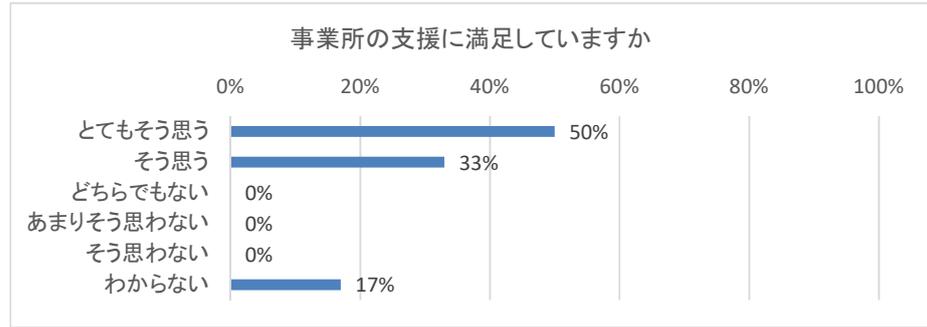
すぎのこルーム（児発・後期） 配布数51、回答数47 回答率92% 事業報告書P136



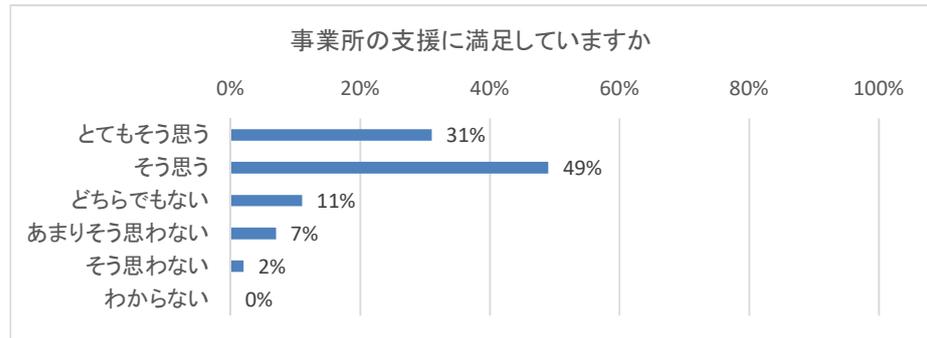
すぎのこルーム（児発一発達・前期） 配布数6、回答数6 回答率100% 事業報告書P120



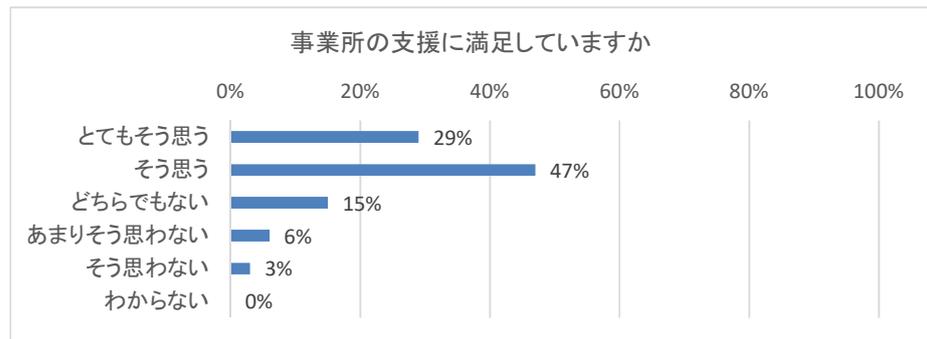
すぎのこルーム（児発一発達・後期） 配布数6、回答数6 回答率100% 事業報告書P142



イ やまびこルーム（前期） 配布数56、回答数45 回答率80% 事業報告書P149



やまびこルーム（後期） 配布数59、回答数34 回答率57% 事業報告書P158

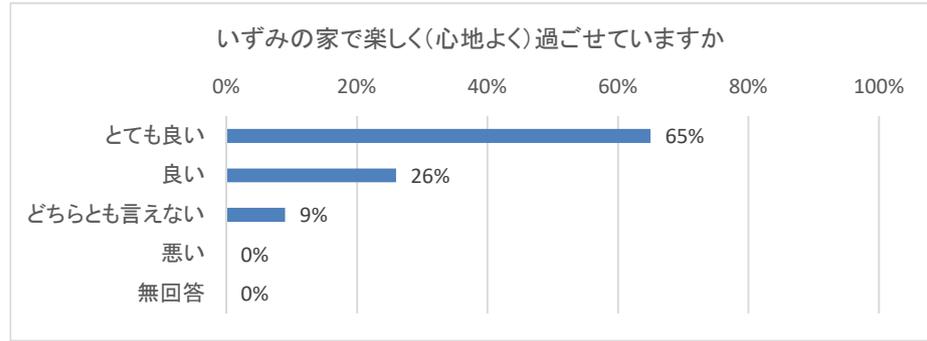


ウ いずみの家 利用者

配布数31、回答数31

回答率100%

事業報告書P176

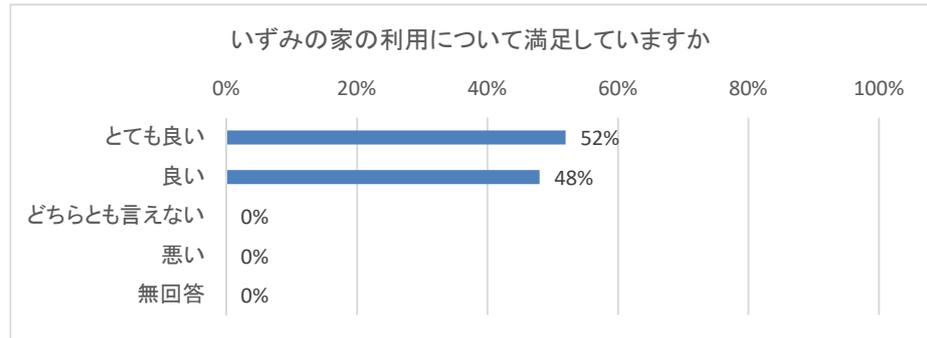


いずみの家 家族

配布数31、回答数29

回答率94%

事業報告書P180

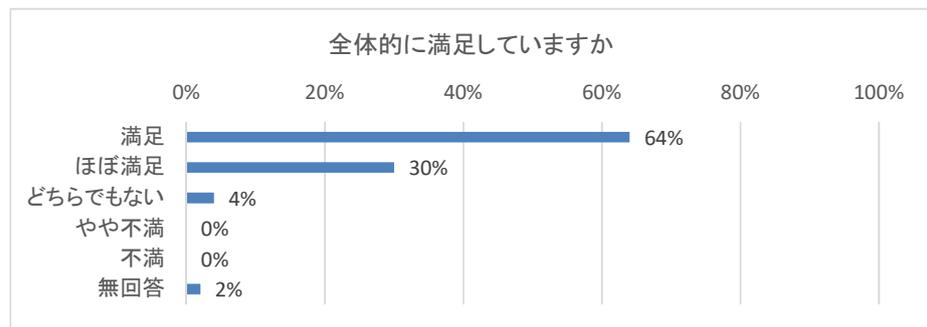


エ ふれあいの家

配布数431、回答数389

回答率90%

事業報告書P207



(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
<p>外来受付に体調不良の利用者がしばらくいたため、感染の不安を感じた。待合での新型コロナウイルス感染症対策について徹底してもらいたい。 (療育相談所)</p>	<p>経緯の説明と謝罪をする共に今後の改善策として、換気や消毒を徹底することを伝え、納得して頂きました。</p>
<p>①児童発達支援事業の保護者より、年長児は親子分離の回数を増やして欲しい。 ②医療型児童発達支援センター保護者より、参観日に兄弟をボランティアの方が見てくれると助かる。 (すぎのこルーム)</p>	<p>①今年度は5歳児分離クラス(1グループ)を設けました。 ②感染対策を講じながら兄弟預かりを行いました。</p>
<p>①行事を行って欲しい。 ②保護者同士の情報交換の時間がほしい。 (やまびこルーム)</p>	<p>①過去2年間、参加者を少人数に分散して実施していた秋祭りを体育館で午前・午後の2部制にしてより多くの異年齢児の交流を目的として行いました。 ②グループ活動において、母子分離の時間を長くとり、保護者懇談の充実を図りました。</p>
<p>ご本人、ご家族ともに行事の実施を希望される方が多い(いずみの家)</p>	<p>感染者数の状況を踏まえたうえで少人数制で社会研修を実施しました。また、途絶えていた他施設との交流機会を図るため路線バスを借り上げ人数を分散するなど感染対策を徹底して2年ぶりにゆうあいピックに参加しました。ただし泊旅行に関しては新型コロナ第7波による感染拡大のため協議の末やむを得ず中止としました。</p>
<p>色々な教室を開催して欲しい。 (ふれあいの家)</p>	<p>今年度はビームライフル、染め物、ヨガ、作業療法士によるパステルアートの短期教室を実施しました。 また、土日開催の希望に対し、ビームライフルとヨガは土曜日に開催しました。</p>

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

	<p>・療育相談所では、令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症予防のため、診察室や各相談室、個別指導室において換気や消毒の徹底、利用者へ検温や消毒の協力、窓のない部屋など換気が十分に行えない部屋に使用制限を設けるなど、感染予防対策に努めながら、一日あたりに受け入れられる件数が限られる中で事業を運営してきました。新規患者数(新規相談及びインターク)はそれぞれ1,005件(令和3年度1,008件)、554件(令和3年度625件)でした。令和4年度より心理判定員2人を新規に採用し障害児通所支援の支給決定待期間の長期化に対応するため意見書発行業務を7月より開始しました。令和5年度については、更に初診の増加が見込まれますが、再診察枠を確保しながら初回相談方法の見直しや初回診察枠を増やすなど可能な限り待機期間を短縮できるよう、体制を整えていく必要があると考えます。</p> <p>・すぎのこルーム医療型児童発達支援センターでは、療育及び保護者支援に努め、専門機関ならではのニーズに沿った支援の充実を図り、保護者アンケートの満足度も高い評価を得ています。このため、利用人数の増加に繋げることが出来ました。保護者支援では、保護者勉強会を5回開催しました。特別支援学校に進学されたOB体験談の他、令和2年度から継続している「摂食嚥下講習会」は千葉県歯科医師会障害福祉保健委員会の委員を講師に招き、年間4回継続した勉強会を開催しました。講演の他、食事場面での指導など直接講師からアドバイスを頂けたことで保護者からは「摂食について理解が深まった」と好評でした。児童発達支援事業の保護者支援では、低年齢児保護者を対象にビーバー号歯科検診や歯科医師による摂食についての勉強会、3歳児から5歳児の保護者対象には就学に向けて、特別支援学校や支援学級に進学されたOB体験談を実施しました。特にOB体験談では、「それぞれの学校の様子がわかって参考になった」等、参加された保護者から好評でした。</p>
--	---

総括評価

C

所見

・やまびこルームは、人事異動や欠員による職員配置が不安定な状態でのスタートでした。そのため、契約人数の制限、指導頻度の減少をせざるを得ず、利用者数の減少となりました。保護者アンケートの「職員の配置、専門性の項目」についても60%台の満足度にとどまり、指導体制や頻度、内容について要望が多くありました。保護者支援については、保護者ニーズに応えるべく、土曜日にオンラインでの保護者勉強会1回実施、卒園児と在園児の交流会1回実施、平日の保護者勉強会計11回実施（延べ102人の保護者が参加）、異年齢交流グループを計18回実施（延べ122組の親子が参加。昨年度は76組）しました。関係機関とは延べ104件の電話・メール・訪問等により連携しました。公開療育をオンライン配信（22施設からの参加）で行いました。直接療育の頻度は減りましたが、保護者への情報提供、保護者同士の交流の機会の充実、関係機関との連携の強化を図りました。

・相談支援事業所ばれっとでは、相談支援を必要とする新規利用者を受け入れました。利用者一人ひとりに適切な支援ができるように、専門性の向上に向けた研修の受講や、ばれっと内で困難事例を共有し、担当が不在の際にも連絡を取り合う等、臨機応変にきめ細かい対応を行いました。また、サービス提供時モニタリングの実施による事業所間連携の強化や、各区基幹相談支援センターとの協働により、ばれっとの役割の構築及び全体の支援力の向上につなげることができました。

・いずみの家では、受注作業で箱折り、手提げ袋作り、保冷剤の箱詰め、ハンガーの組み立てを柱に行なってきました。令和4年度は行動制限緩和によりターミナルでのお菓子やギフト製品の需要が高まり、箱折り作業の依頼も増加しました。同様に回復の兆しなかった保冷剤、ハンガー作業についても年明けとともに作業の要請がありました。作業収入は約1,872万円（令和3年度比約165万円減）必要経費支出は約1,000万円（令和3年度比約94万円減）就労継続支援B型事業のご利用者1人あたりの月平均額工賃は23,943円（令和3年度比893円増）でした。収入は減少しましたが月平均工賃額は微増することができ、令和3年度就労継続B型事業所の全国（約16,507円）及び千葉県（約14,572円）の平均額は上回ることはできました。

・ふれあいの家では、利用者の方の安心・安全を考慮し、年間を通して新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を図りながら運営しました。主催事業の創作系教室・スポーツレクリエーション教室では、通年教室の11教室だけでなく、短期教室として利用者の方から声が上がったり、好評を得ていた染め物・藍染・ビームライフル・ヨガ等計6種18回の短期教室を開催しました。また、バス旅行を3年ぶりに実施し、肢体・聴覚・内部障害者のバス旅行では春・夏ともに募集人数を超える応募（春；220%、秋；110.4%）があり、好評を得ました。ふれあいフェスティバルは一般の市民の方も参加できる形で開催し、利用者数が令和3年度の87人から140人（60.9%増）と増加しました。貸出事業では、令和4年6月10日からの利用制限の緩和もあり、令和3年度に比べ利用者数が増加しました。令和4年度は一般の市民の方にも参加してもらえるような地域交流の開催や貸出事業での利用者数の増加があり、年間の総利用者数は令和3年度の22,713人から26,053人（14.7%増）と増加しました。

(2) 市による評価

総括 評価	C	所見	<ul style="list-style-type: none"> ・療育相談所では、令和4年より心理判定員2名を増員し、障害児通所支援の支給決定に必要とする診断書（意見書）の発行業務を開始し、15件の発行を行った。 ・すぎのこルームでは、医療型児童発達支援センターでの契約数増加により利用者数が増加（R3:2,689名→R4:2,770名）した他、昨年度に引き続き年5回の保護者勉強会を開催するなど保護者支援の充実を図った。 ・やまびこルームでは、昨年度に引き続き保護者勉強会を土曜日にオンラインで実施し、普段療育に参加できない父親の参加を促す他、保護者の難聴への理解を深めるよう努め、延べ102名の保護者が参加した（R3:91名） ・相談支援事業所ばれっとでは、医療的ケア児コーディネーター研修や強度行動障害支援者研修等の受講により職員の専門性の向上を図り、未就学児を対象とした電話受付による新規利用者の積極的な受け入れや、基幹相談支援センターから相談のあった困難ケースの受け入れを行った。 ・いずみの家では、3名の一般企業への就職が決まり、前年度に引き続き全国の就職率の平均（35.4%）を上回った。また、就労継続支援B型事業において、一人当たりの月平均工賃額は昨年度と比較して893円上昇した（R3：23,050円/月→R4：23,943円/月） ・ふれあいの家では、新型コロナウイルス感染症拡大により中止していたバス旅行の再開や、ふれあいの家利用者だけでなく一般市民にも開放したふれあいフェスティバルの開催により地域交流の充実を図った。
----------	---	----	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・財務状況については、本部会に提出された財務諸表等の資料を確認した範囲では、倒産や撤退等のリスクは認められず、特段の問題はないと認められる。 ・管理運営については概ね適切に管理が行われていると認められるが、次の事項に留意されたい。 <ul style="list-style-type: none"> ①次期の指定管理期間には管理運営の成果指標を再検討いただきたい。
--